

## 環境部会 庄内視察報告

# 再生可能エネルギーの可能性を求めて

山形県は「山形県エネルギー戦略」を策定し、2030年までに原発1基分に相当する、約100万kwを目標に再生可能エネルギーの導入拡大をすすめています。

鶴岡市の鶴岡浄化センターでは、市の分流式下水道を有効利用し下水汚泥の処理過程で発生するメタンガスを活用した消化ガス発電を行っています。当初、建設コストに課題がありました。F I T制度が導入されたことで、設備コストと売電料金との試算による事業



小水力発電所で説明を聞く環境部会メンバー  
県が3分の1の出資

性評価検討を実施した結果、2014年プロポーザルによる公募で、民間業者の運営が決定し実現しました。また、水道水供給事業においても温暖化対策の観点も含め、施設での小規模な水力や太陽光発電をすすめています。鶴岡浄水場からの落差を利用して排水池に入る水を水車発電機を使って発電する仕組みを取り入れ、年間発電量約160万kw、一般世帯約500戸分を供給しています。

をしている株式会社やまがた新電力は、他県依存のリスクを回避しエネルギーの地産地消をめざして設立されました。風力・太陽光・バイオガスによる電気を供給しており、8月現在、県有施設95か所、民間施設3社に供給しています。今後も公共施設への供給をすすめていく計画です。

原発依存から脱し、災害時の安定供給の点においても、地域での再生可能エネルギーの取り組みは重要です。江戸川区でも、学校・公共施設の屋根・街路樹の剪定後の木材・区所有の親水公園の水流などの資源を利用し、太陽光・小水力・バイオマス発電など、できる限り追求することが重要だと考えます。

行政のビジョンや計画が、再生可能エネルギー促進に大きく影響することを改めて実感しました。  
(環境部会部長 原田 真佐子)

## 11月オープン 「かさいあったか子ども食堂」

食を通して、子どもたちや子育て家庭を地域で見守り、バランスのとれた家庭料理でおなかも心もあたたかに。生活クラブ生協関連5団体で構成する「江戸川地域協議会」では、そんな思いで昨年4月、子どもの貧困問題への取り組みとして「えどがわあったか子ども食堂」をオープン。今年11月1日、葛西地区でもスタートしました。同協議会が策定した「江戸川・市民版地域福祉計画」に基づく取り組みです。

「かさいあったか子ども食堂」は葛西駅近くの「伊太利庵」にて。夜間実施のため、安全を考え、小学生だけの参加は7時まででした。1回目のメニューは、本格ハヤシライスに野菜たっぷりスープ、かぼちゃとりんごのサラダ。21人の子とも26人の大人が来

店。12人のボランティア参加がありました。「あったかい雰囲気がいい」「自然に野菜が食べられるメニューを続けて」などのご意見が寄せられました。

「かさい」も「えどがわ」もレストランの休業日を活用。調理を仕事にしている方々がボランティアで腕を振るうので、栄養面も衛生面も安心です。「子ども無料」は、賛同して下さる方々からのご寄付により実現できています。ひとりでも来て大丈夫、友だちや家族と一緒に、大人だけの参加もOKです。

もし、お近くに、子どもがひとりでごはんを食べているご家庭などがあれば「あったか子ども食堂」を



	かさいあったか子ども食堂	えどがわあったか子ども食堂
日時	毎月第1水曜日/午後5時30分~8時	毎月第3日曜日/正午~午後2時
場所	イタリアンレストラン「伊太利庵」 中葛西3-33-6 マルカハイツ1F TEL 03-3675-3056	コミュニティレストラン「ほっとマンマ」 中央2-4-18 ほっと館1F TEL 03-3652-7212
食事代	中学生まで無料・大人300円	
主催	生活クラブ運動グループ江戸川地域協議会	

\*区内には現在13の子ども食堂があり、区の社会福祉協議会が事務局となり、ネットワーク化が進んでいます。

## 子育てしやすいまちへ



もとにし 本西 みつえ  
江戸川区議会議員

江戸川区では毎年約6,000人の子どもが誕生します。1人の女性が生涯に産む子どもの数である合計特殊出生率は1.42、23区中で3位です。多くの子育て中の親子が暮らすまちで、さまざまな支援が必要とされています。

区では、昨年より保健師による妊婦全数面接を始めており、専門家とつながることで安心感を持てるようにしました。また、出産後に乳児とともに出かけられる区の子育てひろばは20カ所あります。小さな喜びや毎日のちよとした不安や困りごとを気軽に話し相談できる、親同士の出会いと交流の場です。トイレに行くときなど、親同士で「ちよつとうちの子ども見ていて」と気軽に言える雰囲気づくりも大事なことです。加えてボランティアで関わる地域の人々により、親子を暖かく見守る場にもなっています。現在南篠崎と葛西の共育プラザ2か所が実施している、理由を問わないひろば内一時保育を拡充することが必要です。

これらの支援に加え、育児に不安を抱える家庭には、区の育児支援ヘルパーによる沐浴の補助など、育児や家事の援助を行い、孤立させないことが大切だと考えます。安心して子育てできる環境とは、子育てを抱え込まず、人とのつながりを持つことではないでしょうか。

ガイドライン [http://kosodatehiroba.com/new\\_files/pdf/guide29.pdf](http://kosodatehiroba.com/new_files/pdf/guide29.pdf)

## ありのままの自分でいられる社会に



いとう 伊藤 ひとみ  
江戸川区議会議員

性的マイノリティーの人たちを示す言葉としてLGBTが使われはじめ、多様な性があることが広く社会的に認知され始めました。そして2015年11月には、世田谷区と渋谷区で、同性のカップルに婚姻証明にあたる「パートナーシップ証明書」を交付できるようになりました。また、今年7月にはカミングアウトした5人の地方議員が発起人となって、性的少数者の人権を守る条例や施策を、地方議会を通じて、全国の自治体に広めていく

とをめざす「LGBT自治体議員連盟」が発足しました。生活者ネットワークも参加し、理解を深め、政策につなげていきます。

また、恋愛感情をどの性に抱くかという性をセクシュアルオリエンテーション(SO)、自分自身の心の中で自覚している性別をジェンダーアイデンティティー(GI)といひ、すべての人を含んだSOGI(ソジまたはソギ)という言葉も使われるようになってきました。

人権を守るうえで、恋愛感情の指向や自分の性の自覚による差別があつてはなりません。多様な価値観を認め、個人の生きやすい生き方を選択できる社会をつくるべく努力をしていかななくてはならぬと、私たちが思っています。

生活者ネットワークは  
**東京の** 38年の実績  
地域政党です

最も身近な自治体議会に議員を送り、地域から生活の課題を解決していきます。現在34の自治体にそれぞれ生活者ネットワークがあり、区議17人、市議33人、都議1人を擁しています。食品安全、医療、水問題など、東京全体の課題には「東京生活者ネットワーク」として取り組んでいます。

### 江戸川・生活者ネットワークのルール

- ◆議員は交代制  
議員を職業とせず、参加の層を広げるため、2期8年で交代します。議員経験者はそのキャリアを地域の市民活動に活かします。東京全体で交代した議員が177人、江戸川では5人。現職を合わせると225人の女性議員を誕生させています。
- ◆議員報酬は市民の活動資金に  
生活者ネットワークの議席は市民のためのもの。議員は、報酬から経費を引いた額を生活者ネットに寄付し、市民の活動資金にしています。お金の流れはすべて公開しています。
- ◆選挙はカンパとボランティアで  
選挙では、候補者が費用負担することなく、カンパとボランティアで行なっています。